

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	11
事業名	都市計画経費	会計	款	項	目
		一般	8	4	1
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	建設課		
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	都市計画係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町	目的 (対象がどのような状態になっているか)	土地利用や都市施設などを適切に定めることで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進する。
事業内容	都市計画マスタープランの推進を図り、計画的な都市整備を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	市街地・居住環境整備に関する満足度	-	-		%		↑
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				7,046	5,991	6,018		
財源内訳	直接事業費 A			50	183	210		
	うち一般財源			33	166	193		
人件費 (千円) B				6,996	5,808	5,808		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.06	6996	0.88	5808	0.88	5808
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	マスタープランに記載しているコンパクトシティを実現するために立地適正化計画の策定を検討する。	③取組の課題	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進するために、目指すべき将来像をより明確にする必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	長期間未整備の都市計画道路について、ガイドラインに沿って対象路線の見直しを検討した。	④今後の改善計画	現行のマスタープランの目標年度が令和7年度となっており、マスタープランの改訂、及び立地適正化計画策定に向けた取組を進める。